

第5学年 外国語活動指導案

日 時： 平成21年10月8日（木）公開授業 I
児 童： 男10名 女11名 計21名
指導者： 担 任 佐 藤 賢 治 （T1）
 A L T ピーター テスタ （T2）
場 所： 体育館

1 単元名 ランチ・メニューを作ろう（英語ノート1 Lesson 9 P56～P61）

2 単元について

本単元では、料理の注文場面を設け、児童に友達と丁寧な表現を繰り返し使わせることでその意味を知らせ、自然にその表現に慣れることをねらいとしている。本当に欲しいものがあるときには、自然と丁寧な表現を用いる場合が多い。単なる「言葉のキャッチボール」ではなく「心のキャッチボール」ができていたのである。使う言語が何であれ同じことであることに気づかせながら、欲しいものを心をこめて注文させたいと考えた。

児童は、体を動かして活動することが好きである。英語のゲームなどに楽しく取り組んでいる。けれども、新しい単語を使って会話する場面などで、消極的であったり声を出さなかつたりする児童も見受けられる。また、ややもすると、自分のことだけ一方的に話し、相手の気持ちを考えたコミュニケーションになっていないこともあった。そこで、英語を使って体を動かすゲームなどを多く取り入れ、ゲームの中で覚えた単語を会話に用いることで、抵抗をなくすなどの手立てをとって学習を進めてきている。

それを受け、本単元では、前単元 Lesson 6 のレストランの注文場面で、外来語との発音の違いに気をつけて、注文したものを聞き取る体験（“What do you want?” “Pudding, please.” のような簡単な会話の聞き取り）を経験してきたことを生かし、より丁寧な表現 “What would you like?” を扱う。

本時には、カフェテリア形式で客とレストランの店員に分かれて、それぞれを体験させる。実際に活動させる前に、A L T と担任で役割を演じ、会話の中に丁寧さに欠ける受け答えをし、A L T を怒らせる場面を設定する。児童になぜ怒ったのかを考えさせ、丁寧な言葉の必要性に気づかせたい。（場の設定）

「Main Lesson」では、6つの視点から今日の活動に必要な項目を提示し、具体的により反応の姿を例示することで、自己評価の視点を与えたい。また、注文の会話の後で自己・相互評価に友達の良さを書かせることで、お互いを認め合う気持ちを持たせたい。（評価の工夫）

3 単元の目標

丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり、答えたりしようとする。

4 単元の評価規準

（1）コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり、答えたりしようとする。
- ・「ショー・アンド・テル」で、自分たちの思いをはっきり伝えようとする。

（2）コミュニケーションのための理解・表現

- ・食べ物や料理を表す語を理解して言う。

（3）日本や外国の生活・文化の興味・関心・理解

- ・日本と外国では、朝食に主に食べるものが違うことに気づく。

5 単元計画

※ 評価の重点の関、理、文は評価規準の(1)(2)(3)に対応する。

時	目標と主な活動	評価の重点			言語材料	評価の観点(方法)
		関	理	文		
1	○日本と外国とでは、朝食に主に食べるものが違うことに気づく。 ・どの国の朝食か予想し、どんな国でどんな食べ物が食べられているか知る。 ・朝ご飯に食べたものを紹介し合う。	○		○	I eat natto and miso soup in the morning. ~ in English?	・国により、朝食に主に食べるものが違うことに気づく。(英語ノートの記述) ・朝食についての質問に、Yes, No で答えようとしている。(行動観察)
2	○食べ物や料理を表す語を理解して言うことができる。 ・ゲームや質問に答えることを通して、食べ物の語彙に慣れ親しむ。			○	What would you like? I'd like juice.	・ゲームや質問に答えることを通して、食べ物や料理名を知る。(行動観察)
3 本時	○丁寧な言い方で欲しい物を尋ねたり、答えたりしようとする。 ・チャンツやゲームで、食べ物の言い方と注文のしかたの練習をする。 ・客と店員に分かれ、カフェテリア形式でランチの注文をする。	○			What would you like? I'd like pizza. Here you are. Thank you. You're welcome.	・ランチの注文場面で丁寧な言い方で欲しい物を尋ねたり、答えたりしようとしている。(行動観察)
4	○「ショー・アンド・テル」で、自分たちの思いをはっきり伝えようとする。 ・グループごとにリクエスト給食メニューを考える。 ・リクエスト給食メニューを紹介し合い、互いに評価し合う。	○			Original lunch menu is ~. Why?	・「ショー・アンド・テル」で、自分達が考えたリクエスト給食メニューをはっきり伝えようとしている。(行動観察)

1 本時の活動

(1) 目標

丁寧な言い方で欲しい物を尋ねたり、答えたりしようとする。

(2) 仮説に関わる具体的な手立て

「生き生きとコミュニケーションしようとする子どもの育成」を目指すため、次の手立てを取り入れて学習活動を展開する。

①仮説1(他者との関わりを楽しく体験する場の設定)に関わって

ア HRTとALTのデモンストレーションでは、HRTが店員を演じ、客のALTを怒らせるような対応をし、ALTがどうして怒ったのか、児童に考えさせ、丁寧な言葉の必要性に気づかせるようにする。

②仮説2(効果的な評価の工夫)に関わって

ア 「Main Lesson」では、6つの視点から今日の活動に必要な項目を提示し、具体的によい反応の姿を例示することで、自己評価の視点を与える。(自己評価)

(3) 展開

段階	学習活動		留意点	
	児童	T 1		T 2
Greeting warm-up 5分	1 あいさつをする。 2 チャンツをする。 ♪What Would You Like?♪	<ul style="list-style-type: none"> 全体にあいさつをする。 電子黒板の画面を提示し、一緒にチャンツをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体にあいさつをする。 チャンツをリードする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気作りをする。 チャンツのセリフを一部変えるなどして、楽しく練習させたい。
Review 10分	3 食べ物の名前や注文のしかたを思い出す。 <ul style="list-style-type: none"> キーワードゲームで楽しみながら料理名を思い出す。 ペアになり、キーワードの時に消しゴムを取る。 ALT の問いに絵の中から自分の注文したい物を選んで答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物の絵を掲示する。 ALT とデモンストレーションをする。 答えられない児童の支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> キーワードゲームのやり方を英語で指示する。 "What would you like?"と児童一人ひとりに問う。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声で発音できるように声をかけた後、大きな声で答えたりしている児童をほめる。
Main Lesson 25分	4 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">丁寧な言い方で料理の注文のやりとりをしよう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> (スマイル) ・笑顔で。 (アイコンタクト) ・相手の目を見て。 (レスポンス) ・ていねいに、 "Here you are" "Thank you" "You're welcome." までそえる。 </div> 5 アメリカの学校の食堂での注文の会話を二通り聞き、受け渡し時の丁寧な表現を確認する。 ・"Here you are." "Thank you." "You're welcome." 等の表現やスマイル、アイコンタクト、丁寧な動作の大切さに気づく。	<ul style="list-style-type: none"> 課題を日本語で説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 今日の自己評価ポイントの具体的姿を例示する。(仮説2ア) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 最初のデモンストレーションでは、HRTが店員となり、客のALTを怒らせるような対応をして、丁寧な言葉遣いの必要性に気づかせる。(仮説1ア) </div> <ul style="list-style-type: none"> 丁寧な接し方のデモンストレーションをする。 T1: Hello. T2: Hello. T1: What would you like? T2: Pizza please. T1: OK, pizza. Here you are. T2: Thank you. T1: You're welcome. 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を英語で提示する。 <ul style="list-style-type: none"> アメリカの学校の食堂(カフェテリア方式)での丁寧な注文のやりとりを教える。 	<ul style="list-style-type: none"> "Here you are" "Thank you" "You're welcome."などの表現や、スマイル、アイコンタクト、丁寧な動作に気づかせる。
	6 客と店員に分かれ、カフェテリア形式で、ランチの注文をする。			<ul style="list-style-type: none"> 表情や言葉か

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 班のうち、2 班が客、残り 2 班が店員になり、分かれて活動する。 ・ ペアで品物の受け渡し練習をする。 ・ 分からなかったら、友だちやALTや担任に聞く。 <p>7 注文と店員、それぞれの活動が終わったら、シールをもらい、活動の感想を記入する。</p> <p>8 レストランでの注文のやり取りに、希望した児童が挑戦する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 店員側のセリフをリードする。 ・ 第1グループの配慮が必要な児童やつまづいている児童に支援する。 ・ 注文ができたときと、店員の活動ができたときに、シールをあげる。 ・ レストランでの注文のやり取りをデモンストレーションする。 ・ 挑戦した児童のよさをほめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注文する側のセリフをリードする。 ・ 第2グループの活動を見て、ほめたり支援したりする。 	<p>ら、心を込めて受け渡ししていることが伝わる児童をほめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の役の言い方が分からなかったら教え合う。それでも、分からなかったら、ALTやHRTにたずねる。 <p>○丁寧な言い方で欲しい物を尋ねたり、答えたりしようとしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張った友だちの名前とその内容をカードに記入させ、発表させる。
End of Lesson 5分	<p>9 本時の感想を交流しあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価カードに、ラウドボイスとレスポンスの自己評価を記入する。 ・ 友だちの頑張ったところについて記述する。 ・ 感想を交流する。 <p>10 お別れのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイナスの自己評価を持った子にも教師評価により満足感を持たせる。 ・ あいさつする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちの頑張りについての感想を聞く。 ・ 活動について感想を話す。 ・ あいさつする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次時への意欲を持たせる。

(4) 評価

丁寧な言い方でほしい物を尋ねたり、答えたりしようとしていたか。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)